



INTERNATIONAL JOURNAL

(インターナショナル・ジャーナル)

2024 Spring Issue (春号)

【四半期ごとに、環境について国際的な視点でご紹介します。】

エシカル消費(倫理的消費)をご存知ですか？

エシカル消費とは、消費者が社会的課題の解決を考え、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うことです。

近年、地球環境等の課題に対し、消費者行動の実践を通じて、課題解決に貢献しようという関心が高まっています。具体的には、環境等に配慮した商品やサービスを選択することや、食品やエネルギーのロス削減、地産地消、被災地産品の応援消費等、多岐にわたります。

参考：消費者庁「エシカル消費とは」

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/

今日から無理なくできるエシカル消費！

◆てまえどりを実践する

すぐに食べる予定の食品は、商品棚の手前にある販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ「てまえどり」を実践しましょう。販売期限が過ぎて廃棄されることによる食品ロス削減に繋がります。



◆本当に必要か見極める

衝動的に買って、ほとんど着ていない服はありませんか？日本全体で、大型トラック約120台分(1,200トン)の衣服が毎日廃棄されています。購入する前にクローゼットを見直して、本当に必要な服を買うようにしましょう。



◆環境ラベルがついている商品を購入する

エコマークやグリーンマークなどの環境ラベルとは、環境負荷低減に貢献する商品などについているマークです。価格や品質だけでなく、リサイクルのしやすさや環境のことを考えて買い物をしましょう。



参考：消費者庁パンフレット「みんなの未来にエシカル消費」

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/material/assets/ethical_20201119_0001.pdf

参考：環境省「サステナブルファッション」 https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

買い物や、食べること、サービスを利用することなど、「消費」という行動は毎日の生活そのものです。

消費と社会のつながりを「自分ごと」として捉え、一人ひとりが、人や社会、地球環境の未来を考え、より良い世界へと変えていくために行動しましょう！

12 つくる責任
つかう責任

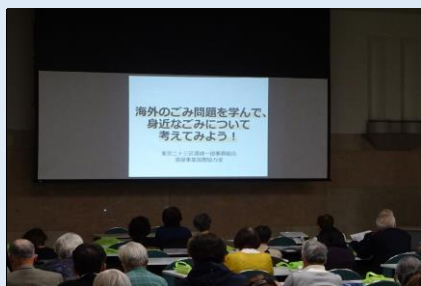


「海外のごみ問題」の講演を杉並区で行いました!!

杉並清掃事務所の依頼により、「令和 5 年度杉並区町会連合会清掃研修会」(令和 6 年 1 月開催)にて講演を行いました。この研修会は、計 3 回開催されたもので、延べ 231 名の区民の皆さんが参加されました。

清掃事業国際協力室からは、杉並清掃工場の紹介と共に、日本と海外のごみ処理の違いや、海外のごみ問題について講演しました。研修会では、このほか、食品ロス削減に向けた講演や、環境啓発動画の上映があり、参加者の皆さんは、熱心に聴講されていました。

講演の様子



(講演スライドの抜粋)

参加者からは、「海外のごみ処理事情が分かり参考になった」や、「海洋ごみの深刻な現状を理解することができた」など、貴重なご意見・ご感想を多くいただきました。ありがとうございました！

清掃事業国際協力室では、海外のごみ問題の紹介や、23区と連携して行っている清掃事業の国際協力の取組について、引き続き広く発信していきます。

令和 6 年 3 月 15 日発行 印刷物登録 令和 5 年度第 131 号

東京二十三区清掃一部事務組合 清掃事業国際協力室

(Clean Authority of TOKYO, International Cooperation Department for Waste Management)

ホームページ : <https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/index.html> 電話 : 03-6238-0572

【東京二十三区清掃一部事務組合は、海外のごみ問題に23区とともに取り組んでいます。】



Clean Authority of TOKYO

